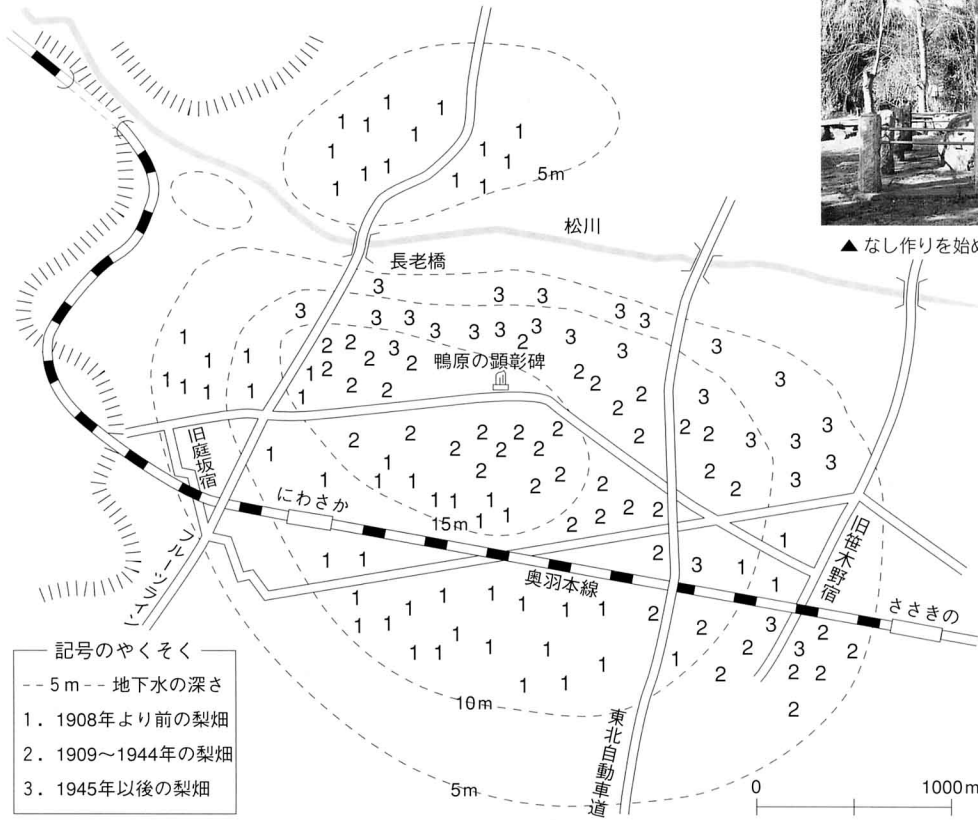


ささきの はら かいほつ
笹木野原の開発

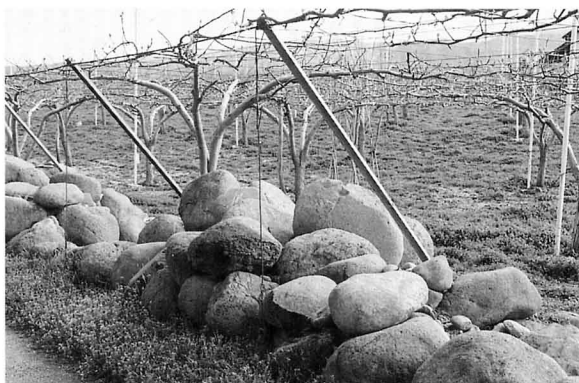
福島盆地には、西の山からたくさんの川が流れ出しています。それらの川は、盆地の西側にたくさんのせんじょう地（扇状地）をつくりました。このせんじょう地を開発し、田や畑を作ることが、人々のねがいでした。

今、一面のくだもの畑になっている土地も、畑になるまでには、たいへんな苦労や工夫がありました。

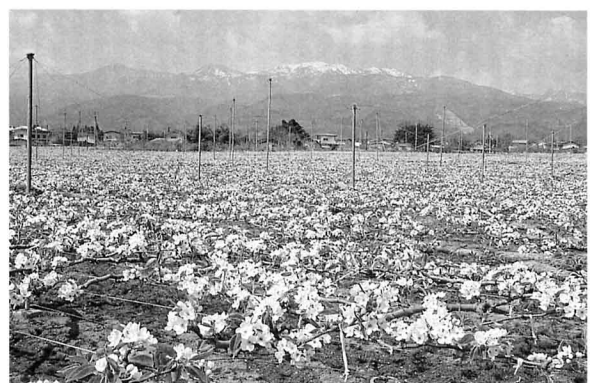
なしばたけかいほつ
 くさき木野原の梨畑開発のうつりかわり



▲ なし作りを始めた鴨原佐蔵をたたえる碑



▲ 開こんしたときの大小の石がまわりにあつめられている。



▲ 現在のささき木野原にひろがる梨畑



いちめんの梨畑も、いちどにひらかれたのではないのだよ。そのわけを考えてみるのもおもしろいね。